

【やっぱ、おもしろい】



それは突然やってきました。

朝、いつものように横断歩道に立っていると1年生のAさんが来て、空を見上げながら、マシンガントーク。

「こうちょう先生に はなしたいことがあるの。」

くもがね、ぐるぐるまわって、

くもがね、みんなをね、すいこんでいっちゃんの

それでね、それでね…」

(おいおい、なんの話だ。この雲を見て、竜巻みたいなのを想像しているのか)

これに対して、さすがにとっさにこたえが見つからず
いつもながらの的外れな返答をしました(*_*)

この後、Aさんは、朝、会っても、こんな風に興奮して話してくれることは1度もなかったのです。この空に、どんな秘密があったのか、大人の私にはわからずじまいです

登校すると、大事に育てていたトマトが収穫前に落ちていました。それを見たB君が一言

「これは虫のえいように」

優しいなあ この発想がすてきだなあ～



(もろもろの事情で、こんな画像ですみません)

いよいよ明日で、1学期77日間が終わります。

歳のせいかどうか、当たり前と思い過ぎてしまいそうなことが、妙に嬉しいというか、ありがたいというか、大事というか…なかなかぴったりに合う言葉が見つからないのですが、とにかく**「よかった」**ってしみじみ思えるんです。

それは、「もし、みんなが揃うことがないようなできごとが起きていたら」なんて考えると。

なあに、そんなことはあんまりないでしょうって思うかもしれませんが、決して可能性としてはゼロではないですよ。生きている限り、何が起っても不思議ではないのですから。

1学期をふりかえてみて、決して嬉しい・楽しいことばかりでは正直言ってなかったと思います。しかし、それでも、こうやって、一つの区切りを、みんなで迎えられそうなこと。なんかそれだけで、「まあ、いいか」って心から思えて、そして、“よかったなあ”って言葉になるんです。

77日間、ほんとにみんな、ありがとね。良い夏休みを。そして、8月23日元気に会おうね。